

報道関係者各位

令和 8 年（2026 年）6 月 1 日

学校法人近畿大学

近大附属和歌山高校・中学校が「令和 8 年度 芸術鑑賞会」を開催 演劇「ヘレン・ケラー」を通じ、人との関わりや教育について考える

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校（和歌山県和歌山市）は、令和 8 年（2026 年）6 月 8 日（月）、和歌山市の和歌山県民文化会館大ホールにて、全校生徒 1,662 人を対象とした「令和 8 年度 芸術鑑賞会」を開催します。



令和 7 年（2025 年）芸術鑑賞会の様子

【本件のポイント】

- 東京演劇集団風による演劇「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」を中高生が鑑賞
- 公演を通じて、教育や人との関わりについて考え、語り合う機会とする
- 感性が育まれる時期の優れた芸術鑑賞により、豊かな心を育むとともに鑑賞姿勢を身につける

【本件の内容】

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校では、全校生徒対象の芸術鑑賞会を年 2 回開催しています。中学・高校の感性が育まれる時期に優れた芸術を鑑賞することで豊かな心を育み、本格的な芸術公演に適し

NEWS RELEASE

た鑑賞姿勢を身につけることを目的としています。

今回は、東京演劇集団風による演劇「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」を鑑賞します。ヘレン・ケラーは、視覚と聴覚に障がいがありながらも、家庭教師アニー・サリバンとの出会いを通じて世界とのつながりを広げ、多くの人々に希望と感動を与えてきました。本公演では、ヘレンとサリバンの間に生まれた「通じ合う心の波」が、家族や周囲の人々、そして社会へと広がっていく姿が描かれます。

本公演を通じて、生徒一人ひとりが教育の在り方、人と人との関わりや人間として生きることの意味について考え、語り合う機会とします。

【開催概要】

日 時：令和 8 年（2026 年）6 月 8 日（月）

午前の部 10：00～12：00（中学生、高校 1 年生対象）

午後の部 13：30～15：30（高校 2・3 年生対象）

場 所：和歌山県民文化会館 大ホール（和歌山県和歌山市小松原通 1-1、南海電鉄南海線「和歌山市駅」から徒歩約 20 分）

対 象：全校生徒 1,662 人（中学生:564 人、高校生:1,098 人）

公演内容：「ヘレン・ケラー～ひびき合うものたち」（約 100 分）

【東京演劇集団風プロフィール】

昭和 62 年（1987 年）創立。劇団名には、「風のように、形にとらわれずものをつくる」という思いが込められており、創立以来、ロシアのチェーホフやドイツのブレヒトといった劇作家の作品をはじめとする近代・現代戯曲の上演、新作翻訳劇に取り組んでいます。また高校生・中学生を中心にした全国巡演活動は現在、年間 200 ステージ以上行い、『星の王子さま』（作：サン＝テグジュペリ）、『肝っ玉おっ母とその子供たちーあとから生まれてくる人たちに』（作：ベルトルト・ブレヒト）、『Touch ～孤独から愛へ』（作：ライル・ケスラー）などの作品がロングランを続けています。

平成 11 年（1999 年）には、東京・東中野に創造活動の拠点となる専用劇場「レパトリーシアターKAZE」を建設し、平成 15 年（2003 年）には、再演を重ねながら観客とともに質の高い舞台に育てていく「レパトリーシステム」をスタートさせました。

【本資料の配布先】

和歌山県政記者クラブ、和歌山地方記者室、和歌山県政放送記者クラブ

【本件に関するお問合せ先】

近畿大学附属和歌山高等学校・中学校 担当：吉田

TEL：073-452-1161 FAX：073-451-0394

E-mail：kindaiwakayama_kouhou@itp.kindai.ac.jp